

# 二級河川砂押川水系 勿来川 惣の関ダムの効果(令和4年7月15日～16日)【速報】

宮城県

○惣の関ダムでは、令和4年7月15日～16日にかけて、低気圧に伴う大雨により、**流域平均の累計雨量が184mm、最大時間雨量では40mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画50m<sup>3</sup>/sに対し、**24.70m<sup>3</sup>/sを記録しました。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の98.9%(24.43m<sup>3</sup>/s)を貯留し、**下流河川の水位上昇を軽減しております。

## ダムの位置図



## ダムの状況写真



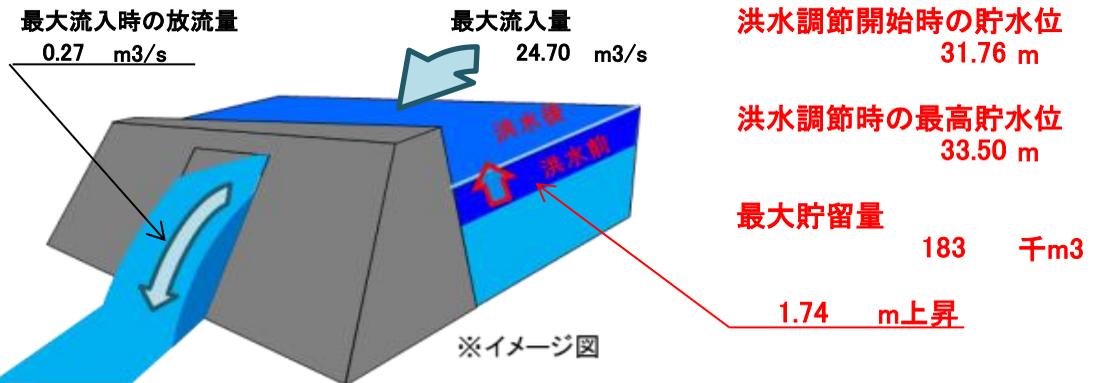
洪水後 7月16日 12時00分

## 惣の関ダムの洪水調節実績

・洪水調節	開始	16日 1時 10分	終了	16日 4時 40分
・ダム流域累計雨量	184 mm	( 15日 0時 ~ 16日 16時 )		
・最大時間雨量	40 mm	( 16日 1時 ~ 16日 2時 )		
・ダムへの最大流入量	24.70 m <sup>3</sup> /s	( 16日 1時 50分 )		
・最大流入時の放流量	0.27 m <sup>3</sup> /s			
・ダムによる最大調節量	24.43 m <sup>3</sup> /s	( 約 98.9% )		

## 惣の関ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 98.9% をダムに貯留しました。



○惣の関ダムの洪水調節等により、この八幡橋地点で、**水位を約0.29m低減させる効果**があったものと推測されます。

下流河川の状況写真

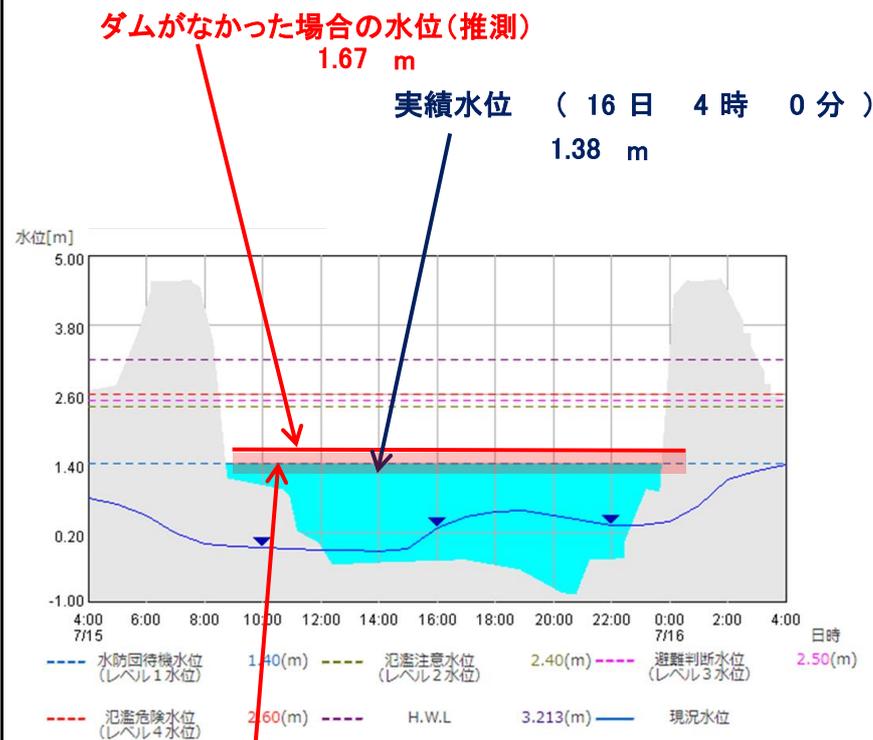


勿来川(寒風沢合流点)(洪水後 7月16日 12時30分)



勿来川(藤田川合流点)(洪水後 7月16日 12時40分)

砂押川(八幡橋地点)の水位低減効果



ダムにより約0.29mの水位低減効果を推測